

デートレイプ判断基準の順序構造分析

—性差に注目して—

○北風菜穂子¹・いとうたけひこ²・井上孝代³・大野順⁴

(¹ 明治学院大学大学院心理学研究科・² 和光大学・³ 明治学院大学・⁴ 杜の郷)

目的

交際相手からのデートレイプにおいて用いられる強要方略の違いは、観察者のレイプ判断に影響を与える。力づくによるセックスの強要は言葉による強制よりも被害者が統制不可能であり、被害女性の責任は小さいと判断されるが、言葉による強制に対しては、女性よりも男性のほうが被害女性に責任があり、ディストレスが小さいと知覚することが示されている (Katz, Moore & Tkachuk, 2007)。本研究では、デートレイプの判断基準の性差について、順序構造分析 (戸田・酒井・やまだ, 2009) を用いて明らかにすることを目的とする。

方法

【対象】 首都圏私立大学で心理学を専攻する学生 56 名 (男性 25 名、女性 31 名) で、平均年齢は 21.63 才 ($SD=3.27$) であった。
【調査方法】 2009 年 5 月、大学の講義終了時に質問紙を配布、郵送にて回収した。
【調査内容】 交際相手からのセックスにおける強要方略の項目を藤岡(2006)、ケリー(2001)を参照して作成した。9つの記述文に対し、「1. まったく無理強いしていない」から「5. かなり無理強いである」までの 5 段階で評定するよう求めた。
【結果の処理】 t 検定と相関係数を基準値とした順序構造分析によって、性差を検討した。

結果と考察

Fig.1 および Fig.2 は項目間の関係をパイプ図に準じた流れ図に表したものである。図に示されているラインは、.4 以上の相関があり、有意確率 1% 水準 ($F > 7.82$) で平均値に差がみられた項目間を結んでいる。ラインの太さは相関の強さを表し、太い順に相関係数の値が .8 以上、.6 以上、.8 未満、.4 以上、.6 未満の 3 段階である。

また各項目を表す円の左右の位置は回答の平均値を表している。「セックスの無理強いである」というレイプに近い判断がされている項目ほど図の右方に位置する。●は身体的暴力や暴力の脅しに関する項目、○は言葉や態度による強制に関する項目、中間色は相手の意思の確認に関する項目であり、3つの領域が順序構造分析に示された。

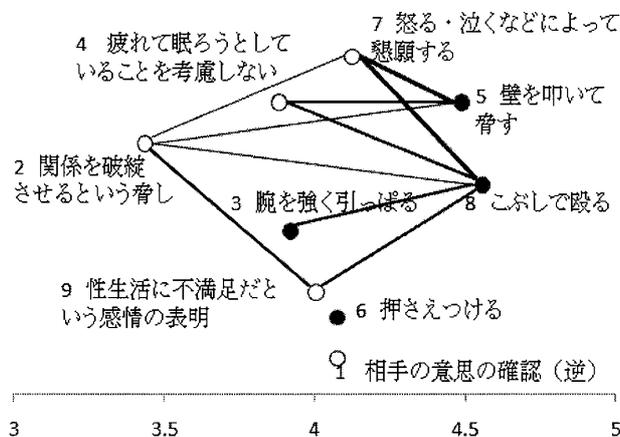


Fig.1 レイプ判断基準の流れ図 (男性)

男女ともに項目 5 と 8 から項目 2 に順序構造がみられた。また項目 8 から項目 7、項目 9、項目 3 への順序構造も男女で共通していた。また、男女ともに項目 6 と項目 1 では、順序構造がみられなかった。

男女で異なっていたのは、男性では項目 7 および 9 から、項目 2 に対して順序構造がみられるのに対し、女性ではみられなかったこと、項目 4 は男性では項目 5 および 8 との相関が強く、順序構造がみられるが、女性では順序構造がみられず、単独で存在していることの 2 点であった。

順序構造分析の結果から、男女に共通するデートレイプの判断基準として、身体的暴力、暴力の脅しが優先的に用いられ、言葉や態度による強制はそれよりもあとに採用されることが示された。これは先行研究の結果とも一致している (Katz, Moore & Tkachuk, 2007)。これは身体的暴力を伴う場合のほうが、より攻撃的であると判断され、一般的なレイプの定義と一致する印象が強いためであると思われる。一方、男女の判断基準の違いとしては、男性では全体的に項目間の相関が強く、レイプの判断基準の採用順序が比較的明瞭であるが、女性では項目間の相関が全体に低く、判断基準の順序性が明確になった項目が少なかったことが順序構造分析から明らかになった。女性はそれぞれの強要方略に対する判断について個人差が大きいか、記述文の内容がいくつかの意味にとられてしまうものであった可能性がある。レイプ神話受容態度との関連など、さらに検討が必要である。

引用文献

- 藤岡淳子 (2006). 性暴力の理解と治療教育 誠信書房
- Katz, J., Moore, J., & Tkachuk, S. (2007). Verbal sexual coercion and perceived victim responsibility: Mediating effects of perceived control. *Sex Roles*, 57(3-4), 235-247.
- ケリー・リズ (2001). 性暴力の連続体 ジャーナ・ハマー、メアリー・メイナード編 堤かなめ監訳 ジェンダーと暴力—イギリスにおける社会学的研究 第 4 章 明石書店
- 戸田有・酒井恵子・やまだようこ 2009 心理学研究における順序構造分析の提案と課題 日本教育心理学会第 51 回総会発表論文集, 303.

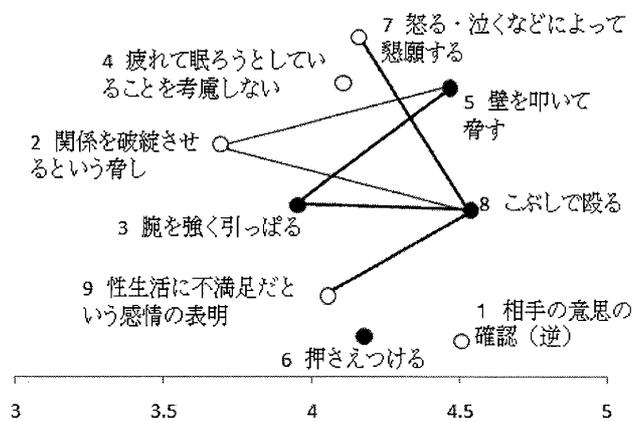


Fig.2 レイプ判断基準の流れ図 (女性)